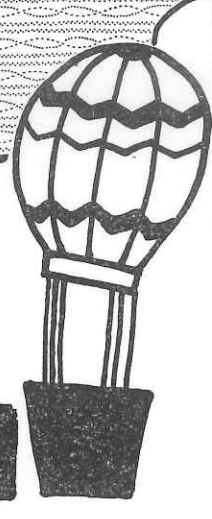


第33回

卒業式



高校阿倍野新聞

発行所
大阪市阿倍野区阪南
町一丁目30番34号
大阪府立阿倍野高校
新聞部
編集責任 延寿正義
発行責任 東谷壮一郎

師の言葉を胸に

第三十三期生の皆さん、御卒業おめでとうございませう。卒業にあたり、先生方から、お祝いの言葉を頂きました。これらを台本とし、高校生活で築きあげた舞台の上で素晴らしい、人生、を演じて下さい。御活躍を期待します。

いつまでも健やかに

校長 平田 泰世

昭和五十六年二月二十四日(火)のきょう、第三十三期生のみなさんの卒業をお祝いします。世に「袖振る縁」(道行く人と袖が触れ合うような、ちよつとしたことでも宿縁による)とさへいうのに、こうして三つかく三年間同じ学校で生活して来たが、「今こそわかれめ、いざさらば」とあすからは離れ離れになってしまう。さびしい思いに涙ぐむ人も多からう。だがどこかでまた会うこともあろう。その時はお互いに声をかけ合いたいものだ。

卒業アルバムにも書いたようにとにかく健やかに暮らしてほしい。わが国には「薬より養生」とか、英国には「健康は病気になるまで尊ばれない」などの諺がある。いずれも深みのある生活の知恵と、思い出しては口ずさんでいる。どうか、いついまでも健やかに―それは身体的にも、それから大切なのは精神的にも。

卒業生の諸君へ

教頭 中西 昭次

第三十三期卒業生の諸君、ご卒業おめでとう。昨年の四月に本校に着任した私にとつては、諸君との付き合いはほんの一年足らずの僅かな期間だった。教室で授業を通して相まみえる機会もなかったけれども阿倍野高生の特長はおぼろげながらわかってきたように思う。

人間はだれでも、他人の不幸を見過ごせない。思いやりの心がある。孟子

二組担任 梶川 重次先生



職員室である先生と話をしていたら「学校の先生は渡し船の船頭みたいだ。入るに聖火を配して勉学とスポーツの両立を奨励する。卒業生は三年かかって

三組担任 横山志津子先生



先日、貴女の人生の宝は何ですか?と聞かれた事がありました。すばらしい人との出会いですと答へられたのも、それだけ私にこのめぐり合いが持てたんだという嬉しい自信があったからです。長い短いという時間の問題でなく、その瞬間の感動や勇気や知恵を与えられたことがあったからです。卒業してゆく貴方達



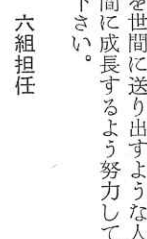
故山 昭次先生

めでたく卒業された諸君は進学・就職とそれぞれの道に別れていく。その道は自分だけしか歩めない大事なことである。それも無為に歩むのではなく、今年はこのよう目標を持って望むかという目で一年間の過ごし方が大きく変わる。さあ、明日からの目標を持ち、どのような困難にも立ち向かっていこう。

五組担任 倉本 優先生



君たちは今まで親や先生から数多くの事を与えられてきた。これはちよつと、畑に肥料をやるのに似ている。すでに、肥料は施された。種はまかれた。卒業して行く君たちは、この畑で育つて行く生物である。成長し、花を咲かせ、実を結ばせるのはこれからの君たち自身なのだ。健闘を祈る。



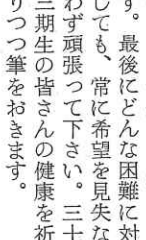
六組担任 坂本 昭先生

卒業おめでとう。いよいよこれからです。未来を信じて、最後の最後まで希望を捨てず、がんばりなさい。あの世阿弥さんは、晩年に息子に先立たれ、自身も佐渡に流され、不幸の連続でした。けれども、不屈に生き抜きました。七度転んでも、八度起き上がった。愉快にがんばりましょう。



八組担任 芦田 暉彦先生

ご卒業おめでとうございませう。長かつたようでも今思ふと短かい三年間でした。これから、それぞれの分野での活躍を期待します。最後にどんな困難に対しても、常に希望を見失わず頑張ってください。第三十三期生の皆さんの健康を祈りつつ筆をおきます。



七組担任 川村誠六郎先生

みな目的を忘れてはいないだろうか。先にあげた「自主トレ」では自分の実力をつけるためという目的があるから進んで練習する。そしてそのことによって実力がついてくる。勉強でも目的を持って自分からやれば半強制的にやるよりずっと効率

目的ある行動を!

勉強。これに對しての自主性の有無を判断すること

は難しい。しかしあえて言うなら、無であらう。普段からコツコツ意欲的に勉強する人は少ない。しかしテストを目前にした時、やはり何かしら義務めいたものにかきかたててみよう。これに對する

もあがりし実力もつく。自治会役員選挙の場合もこれとは少し違ふが要は同じだ。自治会には我々に直接的にでなくとも間接的には大きなかわりを持つてゐるのだ。自分をめめた全校生徒のための自治会を動かすという大い

一言で「自主性を持つ」と言われても急に持てるものではない。まず自分の身近なことで目的を持つたに機械的に行動していったということがないか反省してみるのだ。そして自分から体当たりで神を身につけてもらいた

針の糸

光陰矢の如し、というが、卒業式が近づいてくるとこのことわざの真意がわかる。高校生活における三年間というものはとても短いものである。ある者は大学入試にむかつて勉学に励み、また勉強する傍ら寝食を忘れてクラブ活動に打ち込む者もいる。いずれにせよ一つの事柄に没頭していつかの時は早いものだ。今年の卒業式の答辞にも同じ様なことが書かれている。「ふりかえれば不安と期待を胸に、この阿倍野高校の門をくぐった時からはや三年、長いようで短い日々でした」中學校を卒業し、胸を張って入学してきた新一年生は何事に対してもやる気満々で、フレッシュで、あつたことだらう。しかし、そのヤル気はどこへいつてしまったのか例え我が新聞部が毎年のように取り上げていた自治会活動の低迷、これなどは行き尽くところまで行つたという感じだ。今年一月二十四日まで執行部役員立候補者の受付がなされ、一月三十日には予定通り選挙が行われるはずであった。ところが立候補者が一人もなくやむを得ず受付を選挙の前日の一月二十九日に延期したのである。現時点ではそれで立候補者は皆無である。そのために選挙管理委員会は、委員長を筆頭として、立候補者探しに懸命になっている。また、例の答辞には「この阿倍野高校という大木を繁らせるも枯らせるも全て、花であり若葉である皆さんが在校生の肩にかかっているのです。われわれは今日「種子」として新たな大地を求めて旅立ちます」と書いてある。この「種子」が、新天地に根をはやし、またもや豊饒という大木のひとつになるのだろうか、それとも虫のつかない立派な大木に成長するのだろうか春が待ち遠しい。

☆ ☆ ☆

小雨降る決勝戦

白熱の好試合

一月六日から十三日にかけて冬期クラスマッチが行われた。今年の特徴としてクラスの他に体育大会のグループ(朱雀・白虎・青龍・玄武)に分けられたことである。男子の決勝戦は小雨降る中、第二グラウンドで行われた。

一年サッカー準決勝

二組対九組

七組に1対0で勝った二組と、三組にPK合戦で勝った九組との対戦である。九組のキックオフで始まった試合、前半開始後すぐに二組がシュートに失敗、しかしそのあと二組のコーナーキックから先制シュート。そしてその後二組優勢のまま二組左ウィングがセンターリングしてシュート。一方、九組のほうは直接フリーキックを一本与えられたが失敗。そして二組優勢のまま2対0で前半終了。

六組対八組

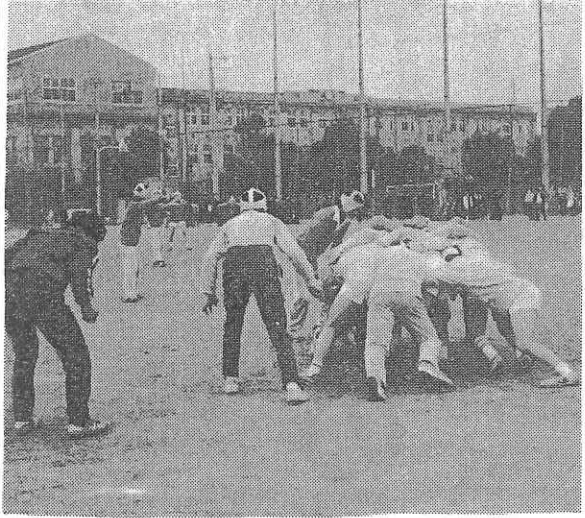
二組対六組

五組に2対0で勝った八組と四組にPK合戦で勝った六組との対戦である。八組のキックオフで始まった試合は、サイドをうまく使った八組が優勢であつたが、六組のバックスがボールをうまく止め、なかなかゴールまで持たず、一か所がゴールまで持った。一方六組は、直接フリーキックを一本失敗しただけで、あまり目立った攻撃は見られなかった。そして0対0のまま前半が終了した。

決勝戦

二組対六組

九組に2対0で勝った二組と六組との対戦である。



試合終了後、二組はゴール前で中央で胴上げし、喜びをかみしめていたようだった。

組と八組にPK合戦で勝った六組との対戦である。六組のキックオフで始まった試合、前半二組が右・左のサイドを使い優勢に立った。そして前半、二組がコーナーキックから、すばらしいヘディングシュートを決めた。一方、六組は惜しいところでチャンスを得たが、どうしても自分のサイドでゲームを進めることができなかった。

後半は目立った動きはなく、結局、前半二組がコーナーキックからのヘディングシュートで一点を決め手になった二組優勢になった。

この試合は前後半を通じて両軍とも均衡のとれた好試合で観衆をわかせた。前半、まず先制トライは三組であつた。三組は、センターあたりから出たスクラムのボールを左へ独走しトライした。その後目立った動きもなく前半は終了した。

後半は、まず四組がスクラムのボールを受けトライした。その後再び一方三組は、スクラムから出たボールを右隅へトライし、最後のトライが決めた。手となって三組が勝った。

二組に圧勝した七組と五組を下し準決勝進出となった両者の対戦である。六組は前半、味方陣地内で優勢にゲームを進めた。

三組対六組 準決勝 六組対七組 決勝 三組対六組

明日へ躍進！ 卒業生の進路

共通一次テストは、昭和五十四年から国・公立大学の入試に実施され、今年で三回目を迎える。ここで、共通一次出願から二次テストの合格発表までのシステムを簡単に説明しよう。

共通一次には、本校では去年より四十人程多い、約百三十五人が出願した。そして一月十一日に受験し、その後採点が行なわれる。ここでは自分の得点を出ないが、足切り(共通一次の成績をもとに、志願者数を一定の倍率に減らすこと)による合格が報告される。足切りの点数は各大学によって微妙に違い、不合格になれば二次テストは受けれなくなる。次に、共通一次の結果や、二次テ

トとのウェイトなどを考えあわせ、最終的に一つに絞った大学・学部を決定する。そして三月四日から二次テストが行なわれ、三月二十日頃までには合格発表されることになる。

二次テストを受験される先輩方、風邪に気をつけて全力を尽くして下さい。ご健闘を祈ります。

本年度の就職内定者は次の通りである。

- | | | | |
|---------------|---------------|------------|------------|
| 新田佳代子 (六組) | 藤沢潔 (六組) | 川西 英夫 (六組) | 大和銀行 |
| 乾 由美子 (四組) | 武田薬品 | 松川 寿子 (二組) | 明快薬品 |
| 石美圭子 (四組) | 石美圭子 (四組) | 浅井 雄幹 (四組) | 福寿信用組合 |
| 佐藤須雅子 (四組) | 佐藤須雅子 (四組) | 藤原 由美 (二組) | 電電公社 |
| 桑岡 智子 (二組) | 日本郵政 | 小田和敏 (二組) | 国家公務員二次合格者 |
| 日本郵政 | 日本郵政 | 石川 彰 (二組) | 石川 彰 (二組) |
| 松崎 裕子 (四組) | 松崎 裕子 (四組) | 白浜 利宏 (六組) | 白浜 利宏 (六組) |
| 吉川 英美 (四組) | 吉川 英美 (四組) | 若林 寛章 (八組) | 地方公務員二次合格者 |
| 小泉 佐藤チエミ (五組) | 小泉 佐藤チエミ (五組) | 山本真由美 (四組) | 山本真由美 (四組) |
| 荒木 香 (三組) | 荒木 香 (三組) | 若林 寛章 (八組) | 若林 寛章 (八組) |
| 太陽酸素 | 太陽酸素 | 北田 祐治 (二組) | 北田 祐治 (二組) |
| 西田 和美 (一組) | 西田 和美 (一組) | 松本 静 (六組) | 松本 静 (六組) |
| 三和銀行 | 三和銀行 | 村上 智美 (六組) | 村上 智美 (六組) |
| 武田美由紀 (二組) | 武田美由紀 (二組) | 関西電力 | 関西電力 |
| 小林真里子 (三組) | 小林真里子 (三組) | 玉村真佐之 (二組) | 玉村真佐之 (二組) |
| 高垣美智子 (四組) | 高垣美智子 (四組) | 大阪ガス | 大阪ガス |
| 住友銀行 | 住友銀行 | 中本 貢生 (四組) | 中本 貢生 (四組) |
| 大村 薫 (四組) | 大村 薫 (四組) | 花房 涼子 (二組) | 花房 涼子 (二組) |
| 真鍋 季子 (五組) | 真鍋 季子 (五組) | NHK | NHK |
| 大坂興銀 | 大坂興銀 | 樹村 守 (八組) | 樹村 守 (八組) |
| 新田多寿子 (一組) | 新田多寿子 (一組) | 和田化学工業 | 和田化学工業 |

APC通信

社会科の坂本昭先生に二月九日、赤ちゃんが誕生した。名前は一「あゆみ」とつけられた。これで坂本先生が一児の父親となられたわけだが、その感想を聞いてみると「これが自分の子供か、という感じで実感はあまりない。これぞ先生の子供だ、という感じがする。これぞ先生の子供だ、という感じがする。これぞ先生の子供だ、という感じがする。」



二年女子バスケットボール

二年男子ラグビー

一年女子バスケットボール

一年男子サッカー

編後記

卒業生のみなさんに新聞部から言葉を送ります。

人生は、もともと悲愴なもの。滑り台の滑り降りる瞬間、それは悲愴なもの。滑り台の滑り降りる瞬間、それは悲愴なもの。滑り台の滑り降りる瞬間、それは悲愴なもの。

ボランティヤ少年

酒乱の一年坊主

太めの夢野眠

黄色い絵の具